

2015年1月 キューバ情勢

2015年1月の当国内政及び外交につき以下のとおり報告する。

I 概況

1 内政

(1) フィデル・カストロ前国家評議会議長が公の場に姿を表さなくなっ一年が経過する中、キューバ国外で、フィデル前議長の健康問題に関する多くの報道がなされた。

(2) キューバ・ペソ (CUP) の紙幣として新たに200CUP, 500CUP及び1,000CUP紙幣が発行される旨発表された。

(3) フィデル前議長が伯の識者フレイ・ベト氏と懇談した。会談後、ベト氏は、フィデル前議長の健康状態は良好であった旨述べた。

2 外交

(1) 米財務省及び商務省は、対キューバ制裁緩和措置を発表した。

(2) ハバナにて、第28回移民協議及び外交関係再開等に関する米・キューバ間協議が開催された。

(3) ラウル国家評議会議長がコスタリカで開催された第3回 CELAC 首脳会議に出席した。

II 内政

1 政治犯数の発表

5日、独立系人権団体「キューバ人権和解委員会」(CCDHRN)は、2014年に当局によって短期間拘束された反体制家及び活動家は延べ8,899名に達し、過去最高を記録した旨発表した。

2 フィデル・前議長の健康問題に関する噂

(1) 8日、複数の外国メディアが、フィデル・カストロ前国家評議会議長が公の場に姿を現さなくなっ一年が経過したことを指摘し、公の場に姿を現すことができないほどフィデル前議長の健康状態は悪化している可能性がある旨報じた。

(2) 8日、複数の海外ニュースサイトが、9日、キューバ政府が内外のプレスを対象に記者会見を行う旨(内容は明示されず)報じたが、実際にはそのような会見は行われず、誤報であることが確認された。

3 新紙幣の発行

15日、キューバ中央銀行は、2月1日以降、キューバ・ペソ (CUP) の紙幣として新たに200CUP, 500CUP及び1,000CUP紙幣を発行する旨発表した。これまで、

兌換ペソ（CUC）でのみ購入できた販売店において、CUPによる支払いも認められる取り組みが拡大しているなかで、CUCで販売されている商品を購入する際、現行CUP紙幣では多くの札束が必要になっている状況を解消する目的がある。

4 キューバ国内のインターネット・カフェ数

20日付グランマ紙は、2014年12月の時点で、キューバ国内に155のインターネット・カフェ（パソコン数は573台）があり、2015年第一四半期中に、136のネットカフェ（パソコン数は538台）が新設される旨報じた。

5 フィデル前議長のメッセージの発表

27日、「大学生連盟の同志達へ」と題された、キューバの大学生に宛てたフィデル・カストロ前国家評議会議長のメッセージが当地紙に掲載された。その中で、フィデル前議長は、米国の政策を信用しないとしつつも、そのことは問題の平和的解決を拒否することを意味しないと述べた。また、ラウル議長は適切に物事を進めたとも述べた。

6 フィデル前議長とフレイ・ベト氏の懇談

27日、フィデル・カストロ前国家評議会議長が伯の識者フレイ・ベト氏と懇談した。翌28日、ベト氏は当地紙グランマ等に対し、フィデル前議長の健康状態は良好であったと述べた。

III 外交

1 中国・CELAC 中国協力フォーラム外相会合

8日及び9日、北京にて第1回中国・CELACフォーラム閣僚級会合が開催され、キューバからはマルミエルカ外国貿易・外国投資大臣他が出席した。

2 政治犯の釈放

12日、ハーフ米 국무省副報道官は、記者会見にて、53人の政治犯の釈放を完了した旨キューバ政府より連絡があったと発表した。

3 コンゴ共和国防衛大臣のキューバ訪問

Charles Richard Mondjo コンゴ共和国防衛大臣がキューバを公式訪問し、15日、アントニオ・マセオ将軍及びパンチート・ゴメス隊長の記念碑に献花を行った。同献花式には、アルバロ・ロペス革命軍事省第一次官（キューバ革命軍総参謀長）等が出席した。

4 米国による対キューバ制裁緩和措置の発表

15日、米財務省及び商務省は、翌16日から施行される対キューバ制裁緩和措置を発表した。これにより、渡航、旅行・旅行サービス、保険、輸入、情報通信、送金等に関する

る規制緩和や「Cash in Advance」の定義の変更等がなされた。

5 ガーナ外相のキューバ訪問

キューバを訪問した **Hanna Serwaah Tetteh** ガーナ外務大臣は、15日、ロドリゲス外相と会談を行った。会談中、両者は共通の課題に立ち向かうため協力する必要につき一致し、両国間関係強化の意志を表明した。また、同外相は17日、カブリサス閣僚評議会副議長とも会談を行った。

6 米議会民主党代表団のキューバ訪問

17日から20日にかけて、リーヒー米国上院議員を団長とする米議会民主党代表団が当地を訪問し、ロドリゲス外務大臣やオルテガ枢機卿、その他キューバ側関係者と面会した。また、同代表団は、十数人の反体制派とも面会した。

7 ロシア軍艦のハバナ寄港

20日、露軍艦「**Viktor Leonov**」がハバナ港に入港し、3日間ハバナに滞在した。

8 米・キューバ間協議の開催

(1) 21日、ハバナにて第28回移民協議が行われた。米国側はリー国務次官補代理が、キューバ側はビダル外務省米国総局長が代表を務めた。両国は、これまでの移民協議で合意した事項の確認等を行うと共に、違法移民、人の密輸及び文書偽造対策のため協力を進めることで合意した。また、キューバ側は、「ドライフット・ウェットフット」政策やキューバ人調整法等を非難したが、米国側は、同法及び「ドライフット・ウェットフット」政策を維持していく旨述べた。

(2) 22日、ハバナにて外交関係再開や二国間協力に関する協議が行われた。米国側はジェイコブソン国務次官補が、キューバ側はビダル米国総局長が代表を務めた。米国側はキューバ国内での米国人外交官の移動の自由、外交官数制限の解除、米国利益代表部への荷物送付を妨害しないこと、キューバ人の米国利益代表部への自由なアクセス等を要請したのに対し、キューバ側は、キューバのテロ支援国家リストからの除外及び在ワシントン・キューバ利益代表部が取引銀行がない状況に置かれている問題の解決等を求めた。

9 ロペス国家評議会副議長のボリビア訪問

ロペス国家評議会副議長はボリビアを訪問し、22日、モラレス・ボリビア大統領就任式に出席した。

10 次期ウルグアイ副大統領のキューバ訪問

キューバを訪問したラウル・フェルナンド・センディック・ロドリゲス次期ウルグアイ副大統領は、22日、ラウル国家評議会議長と会談を行った。キューバ滞在中、同次期副

大統領は、ラソ人民権力全国議会議長、ロドリゲス外相、アントニオ・カリカルテ・コロナ外国貿易・外国投資臨時大臣及びバラゲール共産党中央委員会国際局長とも個別に会談を行った。

1 1 米国発行クレジットカードのキューバでの利用

23日、マスターカード社は、3月1日以降、米国発行のクレジットカードのキューバでの使用に関する規制を撤廃することを発表した。

1 2 第27回キューバ・中国政府間委員会の開催

27日、ハバナにて、第27回キューバ・中国政府間委員会が開催され、キューバ側からはイレナ・ヌニェス外国貿易・外国投資省次官が、中国側からは Zhang Xiangchen 商務大臣補が出席した。同政府間委員会において、両国は農業や情報通信などの分野において、5つの新たな合意に署名した。また、同委員会において、中国からキューバに供与された借款の支払い開始時期の延期が合意された。

1 3 ラウル議長 CELAC 首脳会議出席

28日及び29日、コスタリカで開催されたラテンアメリカ・カリブ諸国共同体 (CELAC) 第3回首脳会議にラウル国家評議会議長が出席し、演説を行った。演説の中で、ラウル議長は、外交関係再開のためには、在ワシントン・キューバ利益代表部への銀行サービスの再開及びキューバをテロ支援国家リストからの除外が必要であると述べ、両国関係正常化には、対キューバ経済封鎖の終了、グアタナモ基地の返還やラジオ及びテレビ・マルティの中止、経済封鎖によりキューバが被った損害の補償が必要であると表明した。またラウル議長は、オバマ大統領は大統領権限により対キューバ経済封鎖をさらに緩和することが出来ると述べた。

1 4 要人来訪

- (1) Charles Richard Mondjo コンゴ共和国防衛大臣
- (2) Hanna Serwaah Tetteh ガーナ外務大臣
- (3) ラウル・フェルナンド・センディック・ロドリゲス次期ウルグアイ副大統領
- (4) Zhang Xiangchen 中国商務大臣補

1 5 要人往訪

- (1) ロペス国家評議会副議長のボリビア訪問
- (2) ラウル国家評議会議長のコスタリカ訪問